

A SEED 2017年度事業について

A SEED JAPAN理事会

本別添資料について

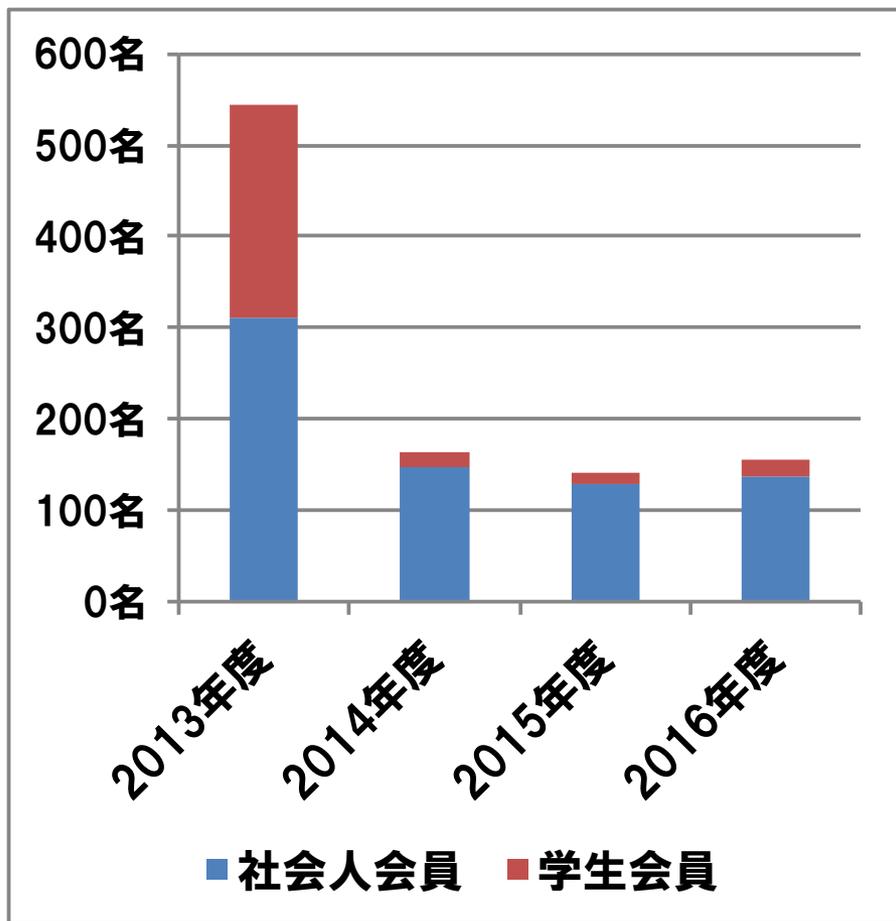
- 総会議案送付時に皆様にご送付することができず、大変申し訳ありませんでした。
- この資料は、ASJのミッションに沿った持続可能な運営に必要な、財政基盤と施策を考えるためのたたき台として作成した資料です。総会当日ご提示したものをベースに、さらに会員の皆様に分かりやすいように若干整理しました。
- 2017年度の予算の根拠はこの資料に基づいております。しかしながら議決事項ではありませんので、総会を経て今後も詳細を詰めていきたいと思っております。

A SEED 2017年度事業について-目次

1. 2017年度ASJ予算の現状と背景
2. 理事会で議論されている課題意識
3. アクションプラン
 - (1) 広報戦略強化
 - (2) 活動サポート基金の創設
 - (3) 自主事業の創出
4. 中長期で赤字予算を減らし、黒字化するために

1. 2017年度ASJ予算の現状と背景

会員数推移



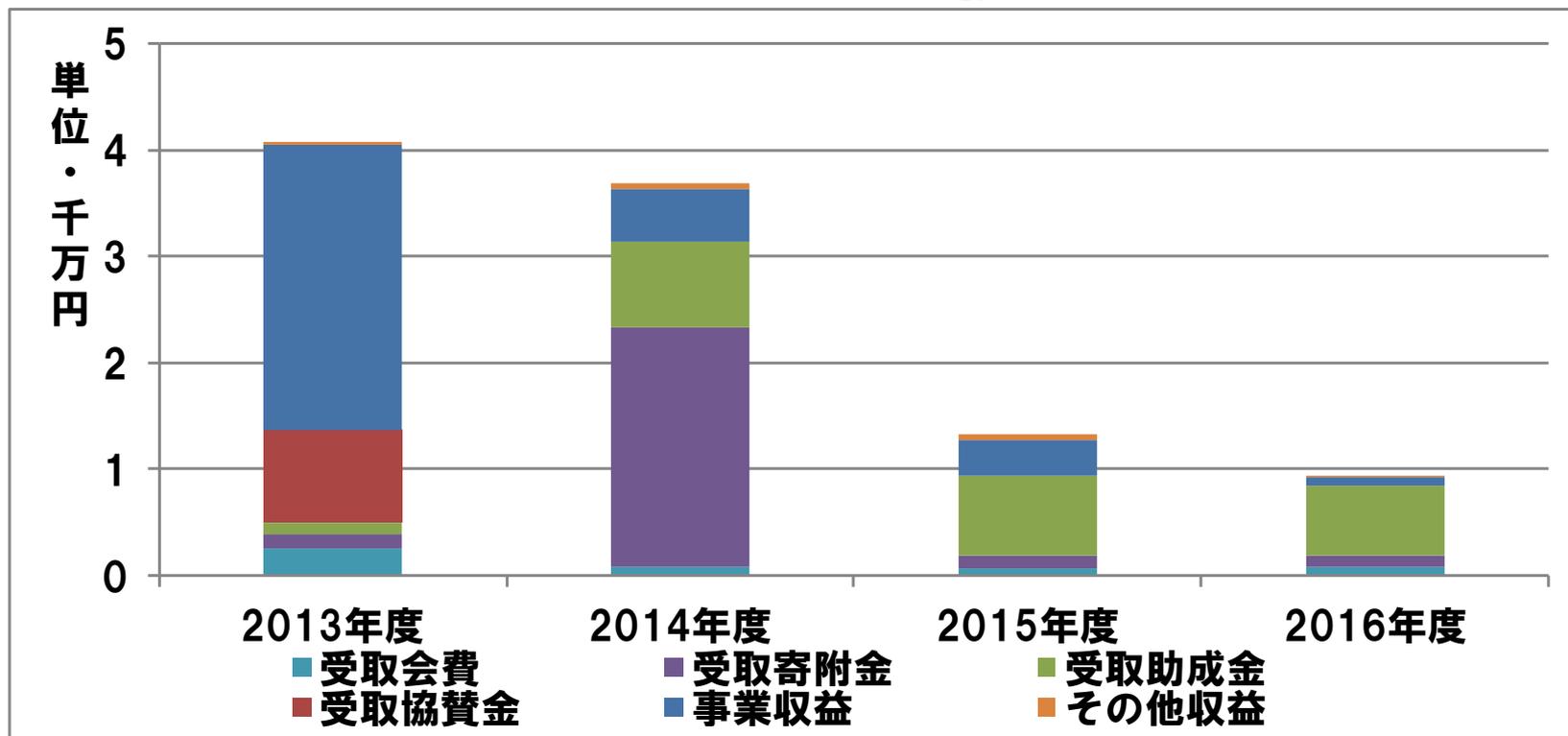
年度	学生	社会人	合計
2013年度	232名	311名	543名
2014年度	17名	147名	164名
2015年度	12名	128名	140名
2016年度	20名	136名	156名

※SPRING会員含む

ごみゼロナビゲーションが独立した後、
1/3ほどに激減し、その後横ばいの状況
が続いています。

1. 2017年度ASJ予算の現状と背景

経常収益推移



年度	受取会費	受取寄附金	受取助成金	受取協賛金	事業収益	その他収益
2013年度	2,547,397	1,380,745	1,096,160	8,713,763	26,794,003	167,804
2014年度	861,000	22,503,536	7,975,193	0	4,975,379	532,579
2015年度	744,500	1,125,495	7,570,447	0	3,332,512	479,780
2016年度	747,500	1,180,680	6,565,980	0	826,149	30,954

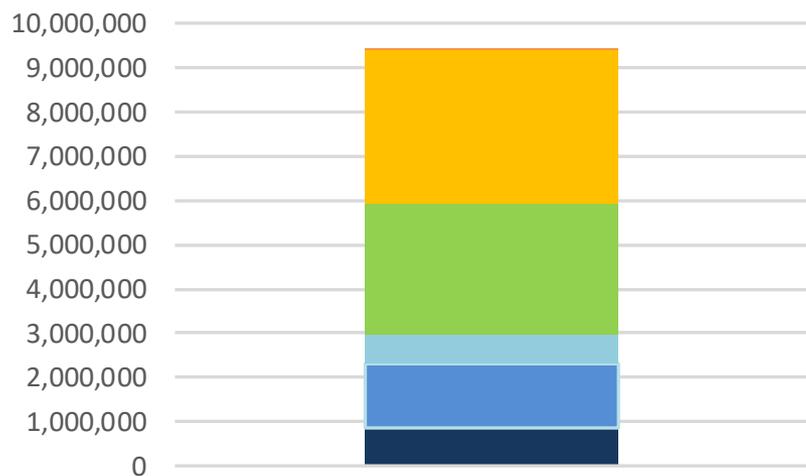
現状、助成金の割合が多くなっています。

1. 2017年度ASJ予算の現状と背景

2017年度の予算

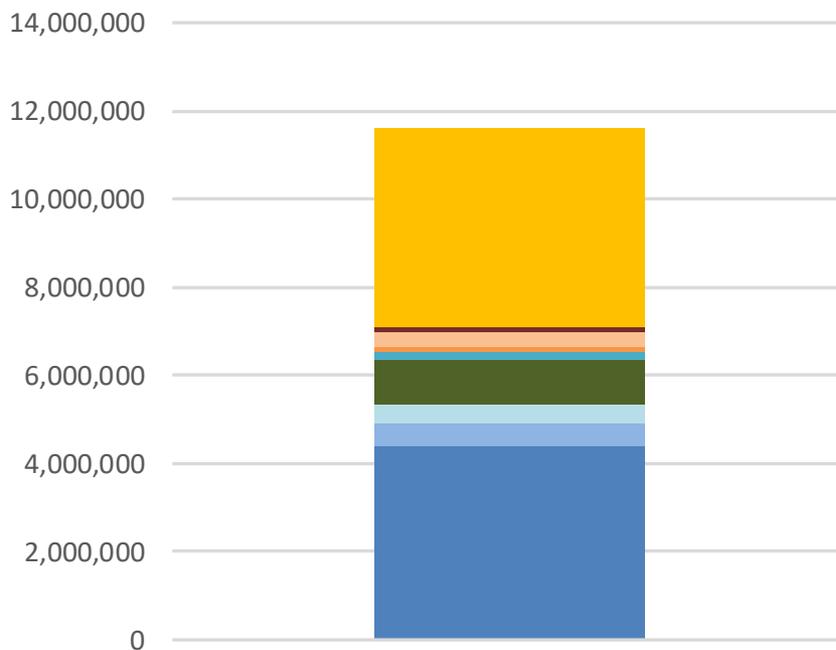
- ・200万円超の赤字予算
- ・そのうち100万円が活動サポート基金
- ・現状は固定費の半分を助成金で賄っている状況だが、これを脱したい。

収入



- 会費
- 寄付
- 事業収益
- 助成金(人件費分)
- 助成金(事業分)
- その他

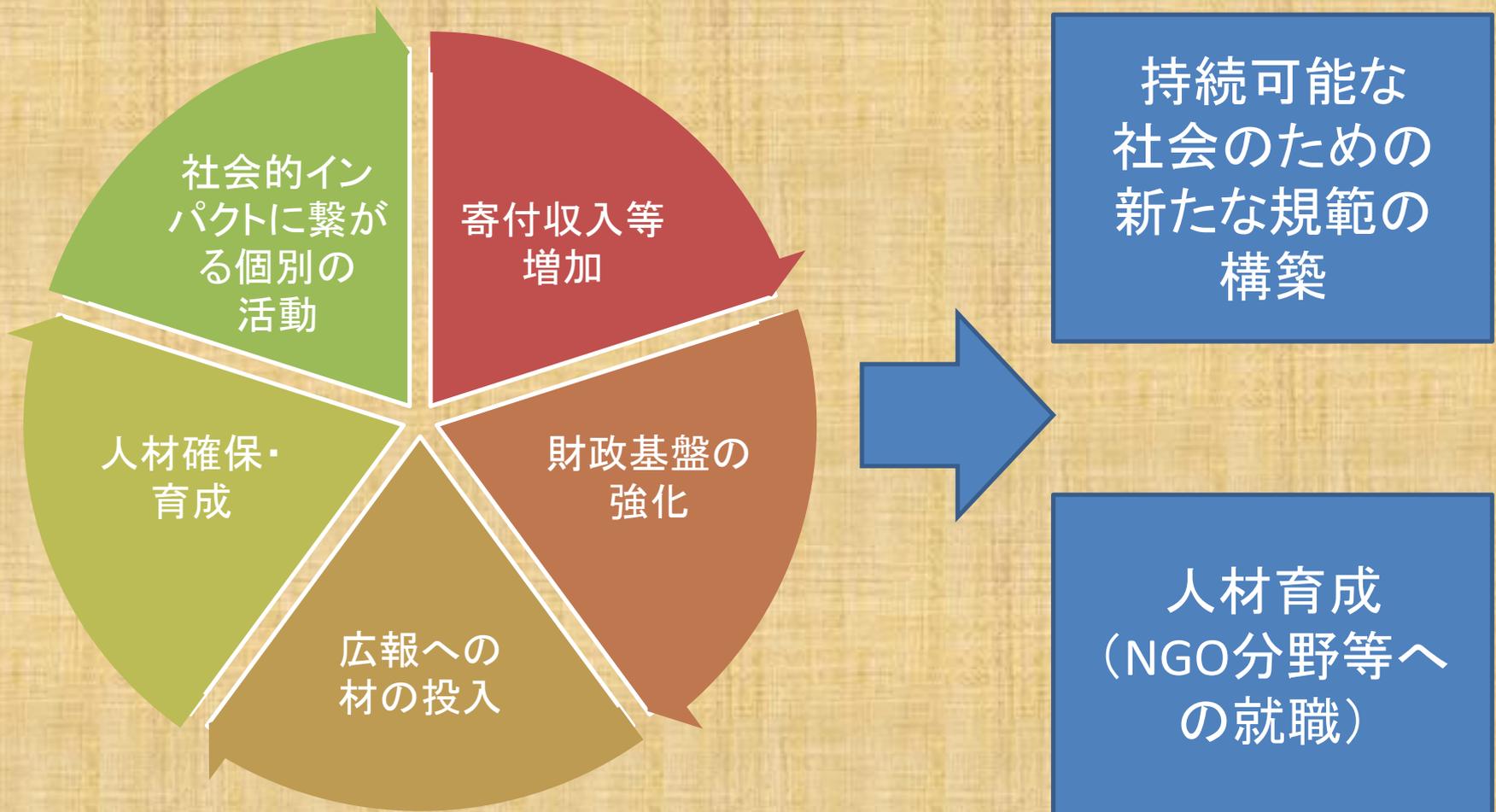
支出



- 人件費:給与
- 人件費:福利
- 人件費:交通
- 家賃その他
- 広報
- その他委託・借損
- その他雑費計上
- 活動合宿等
- 助成事業

1. 2017年度ASJ予算の現状と背景

循環を断ち切らず、良いサイクルを回して
社会変革と人材育成のA SEED JAPANを目指したい！

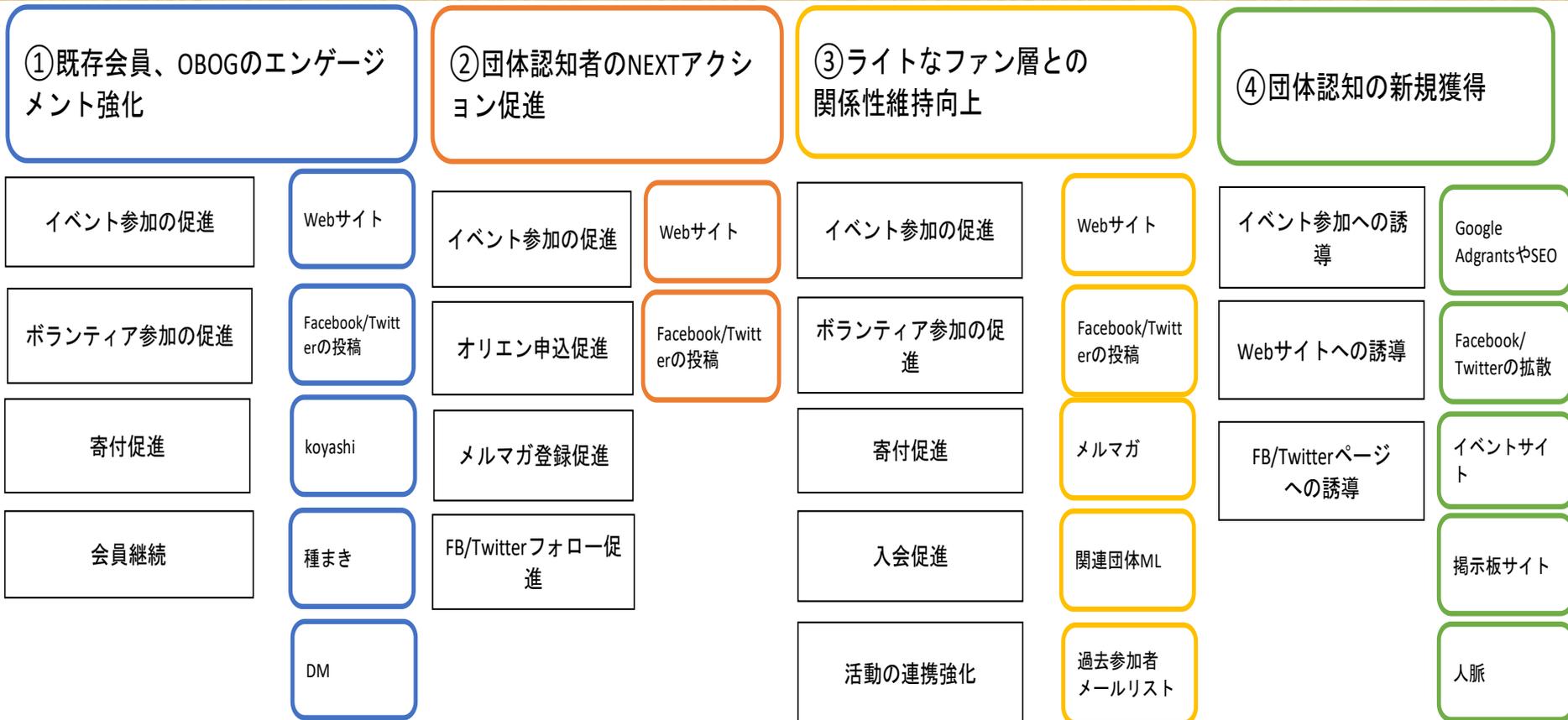


2. 理事会で議論されている課題意識

- (対外的) 国際/国内の社会状況の悪化と次世代当事者による活動の必要性
- (対内的) ASJにおける活動プロジェクト強化の必要性
- (対内的) ASJにおける活動環境整備(人材育成・トレーニング・ネットワーキング)の必要性
- (対内的) ASJの自主財源調達のトリガーの必要性

3. アクションプラン(1) 広報戦略強化

- 広報戦略チームを結成し、
会員増／寄付収入増のための広報計画を策定中



3. アクションプラン(2)活動サポート基金

- 趣旨: 社会変革と次世代育成をミッションとして活動するASJとして、活動パワーアップ、活動づくり、活動環境の整備を目的とした、内部基金を設立する。
- 2017年度から3年間 ※単年度ごとにしくみの見直しを行う
- 金額:
 - 1) 活動に関する支援 50万円(新規・既存・事務局含む)
 - 2) 活動整備の支援 50万円
- 基金の責任者: ASJ理事会
- 事業提案資格: ASJ会員(OGOBを問わず)
- 基金の運用: 2017年度に原資として内部留保金から100万円を拠出。
単年度ごとに資金調達を行い、2018年度からは自主財源から拠出する。

3. アクションプラン(2)活動サポート基金

- 目的

- 1)ASJが行う活動プロジェクトの強化

- 2)ASJが行う活動プロジェクトの創出

- 3)ASJが行う活動が社会的に効果を挙げるための環境整備

- 資金拠出

活動の目的に合致し理事会が了承したものであれば、制限は設けない。

人件費、近距離交通費、旅費(国内外問わず)、講師謝金、研修費他 に拠出することができる。

3. アクションプラン(2)活動サポート基金

- 事業

下記の事業に対して、基金より資金拠出を行う。

(1) ASJが行う活動プロジェクトの強化

(a) 既存のプロジェクトの活動を強化するための資金

(b) ASJ理事会・事務局から提案する活動

(2) ASJが行う活動プロジェクトの創出

(3) ASJが行う活動が社会的に効果を挙げるための環境整備

(a) (1)または(2)を達成するためのトレーニングや研修を実施する資金

(b) その他にASJ理事会が必要とみとめた基金

3. アクションプラン(2)活動サポート基金

- 活動の伴走支援

- (a) 活動計画・目標・評価計画づくり: 理事+OGOB他が有志で関わる

- (b) 定点観測: 月に1回活動ミーティングを行う

- (c) 中間報告会(内部): 事業の中間時点に実施

- (d) 成果報告会(内部): 事業が終了した2カ月後に実施

- 報告

- 会員総会での報告

- A SEED DAYなどASJ関係イベントでの報告

- 「種まき」メルマガでの報告

3. アクションプラン(3) 自主事業の創出

(1) 講師派遣収入

OG/OBとの連携、企業・行政・学校対象

(2) セミナー収入

SDGsをテーマにした企業向けセミナー等

(3) Airbnb社会貢献体験プログラム

(<http://info.techsoup.org/japan-airbnb/>)

4. 中長期で赤字予算を減らし、黒字化するために

- 3年後の目標

固定費約600万円を自主財源で賄える状態を目指す

科目・摘要	2016年度	2017年度 予算	2018年度 予算	2019年度 予算
I 収入の部				
1 受取会費	747,500	840,000	895,000	1,000,000
自動引き落とし	594,000	605,000	650,000	700,000
社会人	112,500	165,000	170,000	220,000
学生	41,000	70,000	75,000	80,000
2 受取寄附金	1,180,680	1,480,000	1,850,000	2,250,000
SPRING	548,500	600,000	700,000	800,000
企業等寄附	281,354	280,000	300,000	350,000
個人等寄附	292,326	500,000	700,000	900,000
マンスリーサポーター	58,500	100,000	150,000	200,000
4 事業収益	826,149	673,000	1,300,000	2,890,000
その他活動体	826,149	370,000	400,000	450,000
事務局関連事業		163,000	700,000	2,200,000
A SEED DAY		90,000	100,000	90,000
講師謝金		50,000	100,000	150,000
小計 自主財源	2,754,329	2,993,000	4,045,000	6,140,000